

HandyTone-286 取扱説明書 ver 2.0.0



このたびは、HandyTone-286 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- ・ HandyTone-286 本体
- ・ AC アダプタ
- ・ イーサネットケーブル
- ・ 取扱説明書

免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ HandyTone-286 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

●HandyTone-286 とは

HandyTone-286 とは、アナログ電話機を弊社サービスにてご利用いただく際に接続するアダプタです。

本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておく必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能が無い方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。



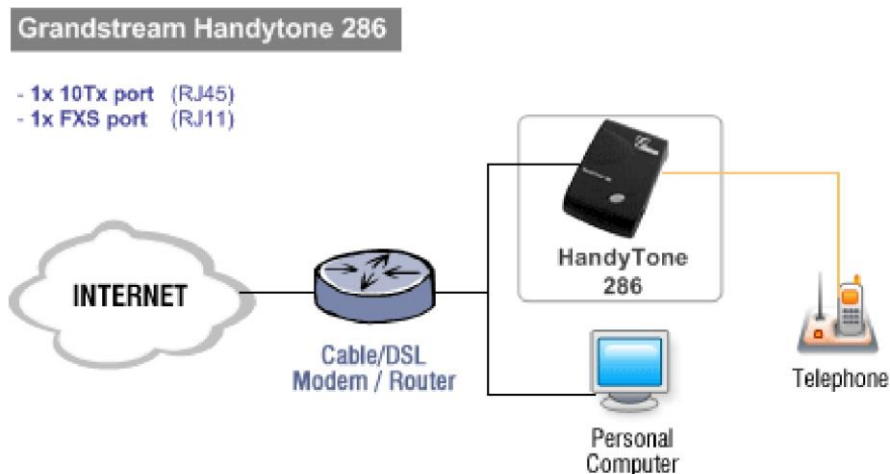
ボタン/ポート	説明
BUTTON/ RED LED/ GREEN LED	設定ボタン。受話器を上げた状態、又は通話中にボタンの LED が赤く光ります。 通信異常がある場合やファームウェアのバージョンアップの際は、赤く点滅します。
POWER (+5V/1200mA)	付属の専用 AC アダプタを接続します。
RJ45 10M Ethernet LAN	付属の LAN ケーブル(イーサネットケーブル)を接続します。
RJ11 Telephone	アナログ電話機を接続します。 ※接続には、アナログ電話機に付属の電話ケーブル(モジュラーケーブル)を利用してください。

●接続方法

1. アナログ電話機の回線種別を「トーン」に切り替えます。
2. 電話ケーブルを、HandyTone-286 の RJ11 ポートとアナログ電話機に接続します。
3. イーサネットケーブルを、HandyTone-286 の RJ45 ポートとブロードバンドルーターに接続します。
4. AC アダプタを HandyTone-286 の POWER ポートに接続し、電源コンセントに差し込みます。

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。

接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。



●Webブラウザによる設定

① HandyTone-286 本体の IP アドレスを確認する。

1. HandyTone-286 に接続された電話機の手話器を上げて「* * *」をダイヤル。

2. 設定が行われていない場合は手話器から「E103E」と英語の音声流れます。

「#」をダイヤルして手話器から「ENTER A MENU OPTION」という英語の音声流れる事を確認して下さい。

※設定が行われている場合は直接「ENTER A MENU OPTION」と音声流れます。

3. 「ENTER A MENU OPTION」の後に「02」をダイヤルします。

手話器から英語の音声にて HandyTone -286 の IP アドレス流れます。

例) ゼロ・ワン・ゼロ、ドット、ツー・フォー・シックス、ドット、ゼロ・ゼロ・フォー、ドット、ワン・ゼロ・セブン

② web ブラウザから、設定ページを開く。

HandyTone-286 と同じネットワークに接続された PC から、インターネットエクスプローラー等 web ブラウザを起動し、

先ほど確認した IP アドレスを、以下のように打ち込みます。

http://(IPアドレス)/ 例: 192.168.001.002 だったら、 <http://192.168.1.2/>

下記 HandyTone -286Web 設定ログイン画面が表示されますので、パスワードを入力し、Login をクリックします。

(初期パスワードは「admin」) ※不正ログインを防止するため、必ず任意のパスワードに変更して下さい。

変更方法が不明な場合、弊社までお問い合わせください。

③ 画面上部 [BASIC SETTINGS] タブをクリックします。

Time Zone:

「GMT+9:00(Japan,Korea,Yakutsk)」を選択します。

設定が終了したら「Update」をクリックします。

④ 画面上部 [ADVANCED SETTINGS 1] タブをクリックします。

SIP Server: & Outbound Proxy:

ログインサーバーを入力します。

SIP User ID: & Authenticate ID: & Name:

ユニーク(10桁の数字)を入力します。

Authenticate Password:

登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。

もし、マイページ内「ユニーク管理ページ」にてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

Preferred Vocoder:

Choice1～Choice8 まで画面と同一の設定を選択ください。

User ID is phone number: No Yes
 SIP Registration: Yes No
 Unregister On Reboot: Yes No
 Register Expiration: 3600 (in seconds, default 1 hour, max 45 days)
 Early Dial: No Yes (use *Yes* only if proxy supports 484 response)
 Allow outgoing call without Registration: No Yes
 Dial Plan Prefix: (this prefix string is added to each dialed number)
 No Key Entry Timeout: 4 (in seconds, default is 4 seconds)
 Use # as Dial Key: No Yes (if set to Yes, '#' will function as the Dial key)
 local SIP port: 5060 (default 5060)
 local RTP port: 5004 (1024-65535, default 5004)
 Use random port: No Yes
 SIP Registration Failure Retry Wait Time: 20 (in seconds, Between 1-3600, default is 20)
 NAT Traversal: No
 Yes, STUN server is: (URI or IP:port)
 keep-alive interval: 20 (in seconds, default 20 seconds)
 Use NAT IP (used in SIP/SDP message if specified)
 Use STUN keep-alive to detect networks connectivity: No
 Yes, total STUN response misses (minimum=3) 5 before restart
 Proxy-Require:
 SUBSCRIBE for MWI: No, do not send SUBSCRIBE for Message Waiting Indication
 Yes, send periodical SUBSCRIBE for Message Waiting Indication
 Offhook Auto-Dial: (User ID extension to dial automatically when offhook)
 Enable Call Features: No Yes
 (if yes, call features using star codes will be supported locally)
 Use Bell-style 3-way Conference: No Yes (if Yes, *23 will be disabled)
 Disable Call-Waiting: No Yes
 Disable Call-Waiting Caller-ID: No Yes
 Send DTMF: in-audio via RTP (RFC2833) via SIP INFO
 DTMF Payload Type: 101
 Send Flash Event: No Yes (Flash will be sent as a DTMF event if set to Yes)

NAT Traversal(STUN):

「Yes.STUN server is」を選択します。

SUBSCRIBE for MWI:

留守番電話録音時に「留守番電話お知らせライト」を点滅させる場合は Yes に設定します。

Send DTMF:

「in-audio」「Via RTP(RFC2833)」を選択します。

設定が終了したら「Update」をクリックします。

⑤ 画面上部 [ADVANCED SETTINGS 2] タブをクリックします。

Grandstream Device Configuration

STATUS BASIC SETTINGS **ADVANCED SETTINGS 1** **ADVANCED SETTINGS 2**

Onhook Threshold: 800 ms

FXS Impedance: 600 Ohm (North America)

Caller ID Scheme: Bellcore (North America)

Onhook Voltage: 36V (High Power)

Polarity Reversal: No Yes (reverse polarity upon call establishment and termination)

NTP Server: (URI or IP address)

Send Anonymous: No Yes (caller ID will be blocked if set to Yes)

Anonymous Method: Use From Header Use Privacy Header

Time to ring: 60 seconds

Special Feature: Standard

CBCOM Encode SIP: RT(C)/P: T3S:

CBCOM Encoder 1.1 Key: _____ (not shown for security reason)

Syslog Server: _____

Syslog Level: NONE

Session Expiration: 180 (in seconds, default 180 seconds)

Min-SE: 90 (in seconds, default and minimum 90 seconds)

Caller Request Timer: Yes No (Request for timer when making outbound calls)

Callee Request Timer: Yes No (When caller supports timer but did not request one)

Force Timer: Yes No (Use timer even when remote party does not support)

UAC Specify Refresher: UAC UAS Omit (Recommended)

UAS Specify Refresher: UAC UAS (When UAC did not specify refresher tag)

Force INVITE: Yes No (Always refresh with INVITE instead of UPDATE)

Firmware Upgrade and Provisioning: Upgrade Via TFTP HTTP

Firmware Server Path: _____

Configure Server Path: _____

Firmware File Prefix: _____

Firmware File Postfix: _____

Config File Prefix: _____

Config File Postfix: _____

Retry-after(minutes): 1 if server unavailable

Automatic Upgrade: No Yes, check upgrade every 10080 minutes (default 7 days)

Always Check for New Firmware

Check New Firmware only when F/W pre/suffix changes

Always Skip the Firmware Check

Firmware Key: _____ (in Hexadecimal Representation)

Authenticate Conf File: No Yes (cfg file would be authenticated before acceptance if set to Yes)

Lock keypad update: No Yes (configuration update via keypad is disabled if set to Yes)

Allow conf SIP Account in Basic Settings: No Yes

Override MTU Size: 0

Volume Amplification: TX: 0dB default RX: 0dB default

Powerline Ring Tone: Frequency (Hz) ON (x10ms) OFF (x10ms)
(Allowed: 15-100) (Allowed: 5-800) (Allowed: 5-800)

	20	200	400	
--	----	-----	-----	--

Call Progress Tones:

	Frequency 1 (Hz)	Frequency 2 (Hz)	ON (x10ms) (C1;C2;C3)	OFF (x10ms) (C1;C2;C3)
Dial Tone	350	440	0	0
Recall Dial Tone	350	440	10	10
Message Waiting	350	440	10	10
Confirmation	350	440	10	10
Audible Ringing	440	480	200	400
Busy Tone	480	620	50	50
Reorder Tone	480	620	25	25
Receiver Offhook Tone	1400	2600	10	10

Disable Line Echo Canceller (LEC): No Yes (If set Yes, echo canceller is not used)

NTP Server:

「ntp.jst.mfeed.ad.jp」を入力します。

入力が完了したら、「Update」をクリックし、次に「Reboot」をクリックします。

本体が再起動し、設定が有効になります。

●英語音声ガイダンスによる設定確認

1. 受話器を上げます。
2. HandyTone-286 に接続された電話機から、「* * *」と入力します。受話器から英語で「ENTER A MENU OPTION」という英語音声がかかります。
(「*」をダイヤルすると、メニュー番号 01「DHCP モードまたは固定 IP モード」のステータスを確認できます)
3. メニュー番号を、電話機より入力し設定の確認を行います。
4. 必要に応じて、「9」をダイヤルし、操作を確定します。

メニュー番号	英語音声ガイダンス	操作方法/内容
01	DHCP MODE (DHCP 動的ホスト構成プロトコル・モード) STATIC IP MODE (固定 IP モード)	注意:固定 IP モードは、弊社サービスではサポートしません。
02	IP ADDRESS	現在HANDY TONE-286に付与されているIPアドレスの英語音声ガイダンスがかかります。9 をダイヤルしてどちらかを選択します。
03	SUBNET	現在のサブネット・マスクの IP アドレスが英語音声ガイダンスで流れます。
04	GATEWAY	現在のゲートウェイ・アドレスの IP アドレスの英語音声ガイダンスがかかります。
05	DNS SERVER	現在の DNS サーバのアドレスの IP アドレスの英語音声ガイダンスがかかります。
	INVALID ENTRY(入力が誤っています)	自動的にメイン・メニューに戻ります。

安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。



警告

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。












注意

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。









警告

-  煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く
そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
-  分解・改造しない
火災・感電・故障の原因となります。
-  開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない
万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
-  内部に水や異物を入れない
水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
-  故障や異常状態のまま使用しない
火災・感電の原因となります。
-  雷が発生したときは、本機に触れない
感電の原因となります。
-  風呂やシャワー室では使用しない
火災・感電・故障の原因となります。
-  本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
-  水などで濡らさない
本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。



注意

-  調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  直射日光の当たるところに置かない
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
-  湿気やほこりの多いところに置かない
火災・感電・故障の原因となることがあります。
-  極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない
故障の原因となることがあります。
-  不安定な場所や振動の多いところに置かない
落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
-  受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う
受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。
それでも具合の悪いときは弊社へお問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。(数回行ってください) 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. 本体底部のMACアドレス(000B82XXXXX)をメモします。
2. 次に HandyTone-286 に接続された電話機の受話器を上げ、「* * *」と入力します。受話器から「ENTER A MENU OPTION」という英語音声流れます。
3. 電話機より「99」と入力します。受話器から「RESET」という英語音声流れます。
4. メモしたMACアドレスを下記変換表を用いて電話機より入力します。

0-9: そのままの数字

A: 22

B: 222

C: 2222

D: 33

E: 333

F: 3333

例 MACアドレスが「000B8200E395」の場合「0002228200333395」と入力します。

6. 入力が終わりましたら、15秒待ちます。電話機が再起動され、設定が初期化されます。